

意見交換会の開催結果について（本地丘小、森孝東小、森孝西小及び森孝中の保護者の皆様）

- ・令和 6 年 4 月 26 日(金曜日)に本地丘小・森孝東小・森孝西小及び森孝中の保護者の方を対象とした「統合案についての意見交換会」を開催しました。
- ・当日、会場で発言していただいたご意見等とそれに対する教育委員会の考え方をまとめました。
- ・内容について、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、ご意見を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

・日時:令和 6 年 4 月 26 日(金) 18:30~19:45

・場所:森孝中学校 ランチルーム

・参加人数:13 人

	本地丘小	森孝東小	森孝西小	森孝中	計
参加人数	3	6	2	2	13

1 統合案について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	・今後も少子化が続く状況だが、この学区の統合だけでいいのか。この地域は、尾張旭市などと非常に地域性が近い。もし、名古屋市という枠組みでしか考えられないのであれば、名古屋市全体で考えてもらいたい。 ・3 クラス、5 クラスあるならともかく、本当に 2 クラスでいいのか。10 年・20 年先を見たとき、森孝中と大森中を統合しなければならい可能性があるのなら、今のうちから検討すべきではないか。	本市の望ましい学校規模を確保する計画である「ナゴヤ子どもいきいき学校づくり計画」においては、統合の組み合わせについて、「原則として、同じ行政区、同じ中学校ブロック内の組み合わせ」としています。 まず、行政区については、過去の地域の繋がりや特性等を考慮し区分されていること、また、同じ中学校ブロック内については、これまでも小学校は違う学校に通っていても中学校ではみんな一緒に通学することになることから、より関係性が深いと考えています。 現在お示ししている統合案では、小学校と中学校の児童生徒を合わせると 500 人程度の規模になると想定しており、統合後も望ましい学校規模を維持できると考えております。 なお、教育施策については、市町村ごとの考え方に基づき、運営予算や校舎整備、教職員の配置等が行われていることもあり、現時点で市外の学校との連携については想定しておりません。

2 教育活動について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
2	・今後、子どもたちが少なくなっていくのは目に見えて分かっているのに、今までの教育体制が良いものであるという前提で、今後も今の教育体制を続けていくことが、本当に子どもたちにとって良いのか。 ・学校での学びが、一人で追究したり、ペアやグループで話し合ったりと変わってきているのは分かったが、それは小規模校だとできないのか。統合することと学校での学びが良くなることは繋がらない。	名古屋市においては、「学びのコンパス」という本市の学びの基本的な考えを示したものを策定しております。その中では、「子ども中心の学び」を掲げ、自分に合ったペースや方法で学ぶ、ペアやグループといった多様な人と学び合う、一人で夢中で探究するといった子どもたち自身がどのような学び方で何を学び探究していきたいかを決め、大人は子どもの学びに伴走するといったことが示されており、今後の子どもたちの学びについて、検討を重ねているところです。 これらの学びは、小規模校でも実践することは可能ではありますが、より多くの人数の方が、様々な考え方にふれ、様々な角度から物事を見ることができるようになり、より教育効果は上がると考えております。 また、施設面におきましても、学校統合を契機に老朽化の進む学校施設を早期に改善するとともに、これからの学びにより適した新校舎を建設することから、さらに教育効果を高めることができると考えております。
3	・現在、中学生の子どもは、小学校の時は、少人数で6年間過ごした。中学生になり、急に人間関係が広がったが、子どもは楽しそうである。こういった機会が小学生のうちからなかったのは可哀想に思っている。 ・少人数規模の学校は、すごく手厚いので、少人数規模のままだ良いという気持ちもある。	小規模校には、「学校行事で活動の場を与えやすい」、「一人ひとりの子どもにきめの細かい指導がしやすい」といったよさがありますが、その一方で、「クラス替えができないことにより人間関係の固定化が生じやすい」、「体育の球技などの集団学習、班活動やグループ分けなどに制約が生じる」、また、「指導上課題がある子どもの問題行動にクラス全体が影響を受けやすくなる」といった課題などがあります。 また、本市では授業において、児童一人ひとりの実態に応じた少人数指導を実施しており、良い結果が出ていることが確認されているところです。 少人数学級や様々な指導の充実策を進める一方で、統合により、クラス替えのできる「望ましい学校規模」を確保し、子どもたちがこれまでよりも多くの考え方や価値観に出会い、社会性や協調性を伸ばす機会をつくることは早急に取り組むべき課題であると考えています。

<参考：学校規模と少人数学級の関係性>

○森孝東小の例

	児童数 (A)	1学年当たり の児童数 (A÷6)	クラス数	1クラス当たり の児童数
令和5年度	142人	23.7人	1	23.7人
令和11年度 (3校合わせて)	293人	48.8人	2	24.4人

上記のように、1クラスあたりの人数はほぼ変わらず（少人数学級のまま）、クラス数が増加する（1クラス→2クラス）ことが統合による効果となります。

3 通学距離について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
4	・森孝東学区に住んでいるが、統合して森孝中まで通うことになる、大きな道路があり心配である。ギガスクールもあり、荷物も重くなっている、事故のないようにしてもらいたい。	統合の前年度までに、それぞれの小学校・中学校の保護者や地域の方々とともに、具体的な通学路の設定とその安全対策について検討します。また、子どもたちの通学練習会を実施する等、交通安全指導にも取り組んでまいります。 また、通学路上の安全の確保については、警察・土木事務所など関係機関との連携を行ってまいります。 これまでの対策としましては、①狭い歩道へのガードパイプの設置、②横断歩道の設置、③青信号の時間延長、④道路へのカラー舗装 などがあります。
5	・現在の小学校区を越えて通学するのだから、課題が絶対にあるはずである。統合を決める前に課題を出してもらって、それをどう改善できるかを示してほしい。	これまでの統合校においては、統合の決定後に、各学区の保護者・地域・学校の代表者の皆様で構成する新しい学校づくり懇談会において、新たな通学路を設定するとともに、その通学路上にある危険箇所等を挙げていただき、それに対する安全対策について、警察・土木事務所など関係機関と調整をしてまいりました。

		ご指摘いただいた統合前に課題を出すことに関しましては、統合した場合の通学路を事前に想定し、危険箇所等について、どのような対応ができるか警察・土木事務所など関係機関と相談してまいります。
--	--	--

4 今後の見通し

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
6	・統合の流れがぼんやりしているので、どういうところに意見を言えば心配事が反映されていくのか、どういうタイミングで吸い上げてもらえるのか、分からないまま進められていくのは不安が大きい。 ・そもそも統合ありきで話が進んでいるようにしか聞こえない。	統合するまでの流れとしては、①：個別プランの作成、②：審議会への諮問・答申、③：保護者・地域への説明、④：統合等の決定、⑤：新しい学校づくりと5つのステップで取り組みを進めていきます。現在は、①個別プランを作成するために、保護者や地域の皆様から、ご意見やご要望をいただいている状況です。また、必要に応じて、資料を配布しご意見を伺ったり、今回のような意見交換会を開催させていただき、皆様の心配事が解消されるよう努めてまいります。 皆様からいただいたご意見やご要望については、②の外部有識者で構成する審議会に統合案を諮問する際に、お伝えさせていただき、それを踏まえ審議をしていただきます。 また、審議会から答申を受けた後に開催させていただきます③の保護者・地域の方への説明会においても、皆様からのご意見、ご要望をお伺いいたします。 最終的に、統合が決定した後の⑤の各学区の保護者・地域・学校の代表者の皆様で構成する新しい学校づくり懇談会において、教育活動や施設整備、通学路等について、要望等をまとめていただき、それに基づき、教育委員会が関係部署と調整してまいります。

5 その他

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
7	・統合となると、数年間で通学する学校が変わることに	統合により始まる新しい学校生活においては、通学する学校の変更、新しい

	なるので、子どもたちへのストレスへのケアも考えないといけない。	友達との交友関係、慣れない通学路など、子どもたちは統合前に比べ、心身の負担が増えるものと考えており、その負担軽減を図ることは大変重要であると考えております。 これまでの統合校における負担軽減策としましては、子どもたちの学習や生活の悩みを聞いてもらっているスクールカウンセラーの配置時間を増やし、子どもたちの学校生活が軌道に乗るまで見守っていただいております。統合が正式に決まりましたら、保護者・地域・学校の皆様のご意見を伺いながら、対策を検討してまいります。
8	・反対されている保護者や地域の方の意見を聞きたいと思っている。反対されている意見を吸い上げ、まとめて出してほしい。	保護者や地域の方々にご意見をお伺いした場合や今回のような意見交換会を開催していただいた場合には、その結果をとりまとめ、教育委員会の考え方も併せて、できる限り速やかに名古屋市の HP でお知らせできるよう努めてまいります。